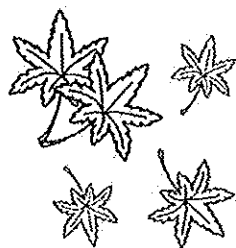


2014 年度八障連・障害者福祉課との懇談会概要の報告



2014.10.23

八王子市役所 802 会議室

出席者(敬称略)

障害者福祉課：古川課長 古澤(庶務担当主査) 櫻田(精神担当(ワーカー)主査)

松田(事業所指定担当主査) 長谷川(援護担当(身体・知的ワーカー)主査)

池田(精神担当(自立支援)主査) 清水(雅)(福祉担当主査) 遠藤(施設担当主査)

永松(手帳・計画・協議会担当主査) 三谷(手帳・計画・協議会担当主査)

中正(自治推進課)：中核市移行の全体像の説明

計 11 名

八障連：有賀(リサイクルわかくさ)・市川(かたくりの家)・伊東(ほほえみ)・緒方(ぱすてる)

川出(リサイクルわかくさ)・小濱(パオ)・小林(晴れる屋)・崎田(いちょうの会)

佐竹(麦)・鈴木亨(かたくりの家)・鈴木房子(ポリオの会)・鈴木陽一(たまりばあ寮)

竹沢(ぴあらいふ)・立川(プレワーク)・土居(八王子生活館)・中島(あくせす)

奏(ころぼっくる)・八町(あくせす)・堀部(ほっとスペース)・松井(こあらくらぶ)

山田(ほっとスペース)・脇田(結の会)・杉浦(第一若駒の家／八障連事務局長)

刃田(八障連代表)

計 24 名

司会進行：杉浦 サブ：有賀 記録：立川

《市の回答》

- ・10月で受給者への通知は終了をし、徐々に戻ってきている。しかし、現状としては、対象者3222人中、計画を事業所で立てた方が369人、セルフプランの方が406人で24%実施している。しかし、児童に関しては、744人中計画を事業所で立てた方が20人、セルフプランの方は90人で実施率は14.8%という数字になっている。通知や市の広報でお知らせしたが、まだ実施されていない方に関しては、今後個別で対応を検討している。
- ・受給者証の更新について、現在1年に1回の更新であるが、今後複数年も検討課題として挙がっている。また、計画相談の事業所についても、現在17事業所と数は増えている。また、他市の事業所に通われている方については、他市の事業所で計画相談を依頼することもある。
- ・システムの見直しについては、市の担当職員も現状では人数が限られているので、今後の検討課題としたい。
- ・計画のセルフでの記入用紙については、市として最低限聴きたいことをまとめてあるので、その項目を含めてアレンジしても構わない。セルフの方が増える予想があったため、そのように幅を持たせた経緯がある。

② 重度利用者が通う事業所への支援について

《参加者質問》

- ・重症心身障害児の通所施設の現状として、小児病院の移転により該当者が減ると思われていたが、現状としてかなりの重度の方が八王子市内にすることが最近分かってきた。しかし、国の施設配置基準(看護師5名や機能訓練士など)をクリアするのが大変である。利用者個々の単価は高いのだが、運営的には赤字に近い。更に先にも言ったように補助金が減っていくなかで、ニーズはあるのに、提供できない状況はどのように考えているのか。このサービスは、施設単体というより、医療との連携が必要であると思われるが、基準を満たさなければ収入も減算対象となり、運営ができなくなる。児童通所の担当部署は、都ではなく市にできないのか。
- ・重度の問題について、今の法のもとでは、就労支援に比重が置かれ、働ける者に対しては陽の当たる感じがするが、その手前で外に出る事すらできない者や、働くまでなかなかいけない者に対しては陽が当たらない感じがする。こあらくらぶ・ほっとスペース・パオの現状を重度問題として捉え、市としての対応を考えてほしい。
- ・地域活動支援センターは法的な位置付けはあるが、単体事業として運営していくには厳しい実情がある。中核市になることもあるので、この事業を地域福祉の一環でやることはできないのか。

される予定。手続きなどの変更については順次進めていく予定。地方交付税として38億円が追加で予算化され、障害者福祉課では8名増員する予定。※説明会については、別紙参照

- ・その他中核市移行に伴い、変更されるサービスや、市の権限についても触れられるが、詳細については、別紙にある予定で、説明会を行う。

⑤その他

《参加者質問》

- ・障害児の放課後等デイサービスについて、様々な法人や株式会社などが参入をしてきているが、どのような障害を対象として、どのような活動をしているのか、事業所同士で連携がなかなか取れないために、対象児童の親に混乱が広がっている。マップなどの作成をしてもらえないか。

《市の回答》

- ・様々な企業が参入をしてきています。その把握に日々動いていますが、かなり特色のあるサービスを提供されている企業もあり、興味を持てるところも多いです。今後情報の共有はしていこうと考えてはいます。現状としては、連絡先などは、通所施設ガイドブックの表に載せていますので、そこでの確認となる。

以上、会場の都合により終了となる。

